

新潟工科大学歌

J = 110

Voice C

きがらーーー わねなぎなみ のすの みいし どなおりはさ もらい すはふ がるぶ しかき ふよさじねか
はやましまーーー ののくおみと ひかねも みあやす がたら えらまかん てつひあす うとのうひびきのみのりを なうし
つるんかわじしつ ややつ こうんがさけ ががが くのくのくのくみみみ ちちち きわめきわめ
んんんととと つああつけか いたれさ なみみみ おがら うわこをか ううけ どどる むまわ
ねゆこをはりをあげうどの いきそうほのほんしうの おとしゅの おとしゅの まいゆえしたかたり てくら きょうだせいかいにを はなほり
とうくかしひがめか やすりけなあ りり こあ こあ り

1,2. 3.

三
荒波の潮騒
安らかな明日の稔りを信じつ
茜さす未来を翔ける若人の
世界を拓く光あり

二
産学の道究めんと
明け暮れに磨く若人
創造進取の意志高く
大地に希望示すなり

一
常磐木の緑も清し
藤橋の丘
甦える鉄打つ響き
工学の道究めんと
集いたる直き若人
意氣ぞ炎と燃え立ちて
郷土に華と輝けり

新潟工科大学歌

作詞 平出 大橋 作曲 久住和磨 昭